

# イスラームにおける同性愛

——伝統的解釈を中心に——

青 柳 か お る

## 序論

筆者は近年、イスラームの生命倫理について研究しているが、出生前診断について調べていくうちに(青柳 2019)、障害者<sup>1</sup>や同性愛者といったマイノリティーの問題にも研究範囲を広げていきたいと考えた。イスラーム世界で同性愛者が迫害されていることは広く知られているが、その根拠にはどのような議論があるのだろうか。

イスラームにおける同性愛の研究には、前近代におけるイスラーム世界の同性愛を扱ったもの<sup>2</sup>、現代の同性愛者のイスラーム教徒が、同性愛者への迫害に沈黙せず、イスラームの信仰と性的指向を調和させようとする活動を明らかにしたもの<sup>3</sup>などがある。ただ、国内外においてイスラームにおける同性愛の研究はまだ少ない状況の中、本稿では、このテーマについて議論する際の土台として、まず伝統的な解釈を整理したい。なお、本稿は主に男性同士の同性愛を扱う。

第一章では、聖典コーラン(クルアーン)にどのような同性愛に関する記述があるのかを詳述し、第二章では、主にサウジアラビアの保守的なウラマー(イスラーム法学者)の伝統的解釈に基づくファトワー(一般信徒に対する法学者の回答)を紹介する。そして結論において、イスラームにおける同性愛に対す

---

<sup>1</sup> Rispler-Chaim 2006など参照。障害者については、稿を改めて論じたい。

<sup>2</sup> Murray2000; 辻 2017など参照。

<sup>3</sup> 欧米については Kugle 2010; Kugle 2014; Zahed 2013; Zahed 2019など、インドネシアについては大形 2019など参照。

る伝統的な考え方を明らかにしたい。

## 第一章 コーラン、ハディースにおける同性愛者の記述

まず、同性愛者に関わるコーランの章句を列挙する<sup>4</sup>。コーランでは男性の「ルート（ロト）の民」について複数個所で述べられている。なお、この民については聖書にも述べられている<sup>5</sup>。

「われの使徒たちがルートへの許に来た時、かれは（ルートの客人としての）使徒のためにとても心を悩まし、かれ自身（人びとの男性の風習から）かれらを守れないことを悲しんで、「これは苦難の日である。」と言った。人びと（ルートの民）は急いでかれの許に来た。これまでかれらは、汚らわしい行い（男性行為）をしていたので、かれは言った。「わたしの人びとよ、ここにわたしの娘たちがいる。あなたがたにとっては（娘たちと結婚することが）最も清浄である。アッラーを畏れなさい。わたしの賓客に関して、わたしに恥をかかせないでくれ。あなたがたの中に、正しい心の者が一人もいないのか。」かれらは言った。「わたしたちがあなたの娘たちに、求める気のないことを、あなたはよく知っているはずである。またわたしたちが望むものもあなたに分っている。」かれは（祈って）言った。「わたしに、あなたがたを押える力がありますよう。もしくは力強い支持にあずかることが出来ますように。」

かれら（使徒たち）は言った。「ルートよ、本当にわたしたちは、あなたの主の使徒である。かれらは決してあなたに手を触れることは出来ない。それで夜の間あなたの家族を連れて出て行きなさい。そしてあなたがたの中、一人でも後ろを振り向いてはならない。あなたの妻は別である。かの女は、かれら（ソドム<sup>6</sup>の住民）の遭遇したことに遭遇するであろう。かれらに定められた時は、早朝である。朝は近いではないか。」それでわが命令が下った時、われはそれ

---

<sup>4</sup> コーランの和訳は、三田了一訳を参照した。

<sup>5</sup> ロトの物語については、創世記19章など参照。

<sup>6</sup> 聖書ではロトの遣わされた町はソドムとされているが、コーランでは町の名前は述べられていない。

(町)を転覆し、その上にわれは幾重にも焼いた泥の石を雨と降らせた。(その石には)アッラーの御許で、(懲罰の)記号が付けられていた。それらは、不義を行う者の上にも降りかかるのである(11章77-83節。)]

上記のように、預言者ルート(預言者イブラーヒームの甥)が遣わされた町の人々は男色であり、ルートの男色に対する警告を聞かなかった。ルートの方に神の使徒たちが客人としてやってくると、町の人々が押し掛けてきた。そこでルートは娘たちを差し出すと言ったが、人々は客人を求めている。最終的にルートと娘たちは町から出ていくが、妻は助からなかった<sup>7</sup>。その後、神によって町は滅ぼされたという。

同様の内容が、以下の章句にも述べられている。

「かれは(また)言った。「(主の)使徒の方がたよ、あなたがた(が来られたところ)の用件は、何でしょうか。」かれらは言った。「わたしたちは罪深い民に遣わされた。(だが)ルート一族は別である。わたしたちは、かれらの全員を必ず救うであろう。だがわたしたちの確認しているかれ(ルート)の妻は別で、かの女は背後に残る人々の一人である。」それから使徒たちがルート一族の許に来た時、かれは言った。「あなたがたは、見なれない方がたです。」かれらは言った。「いや、わたしたちはかれらの疑いを抱いていることに関して、あなたのところに来たのである。わたしたちは真理をもたらした。本当にわたしたちは、真実を告げる。それで夜の明けない間に、あなたの家族と一緒に旅立ちなさい。そしてあなたは皆の一番後から着いていき、あなたがたの誰も後ろを振り向かせてはならない。只、命じられた通りに実行しなさい。」われがこの決定をかれに知らせたのは、残ったこれらの(罪深い)者たちを(翌)朝滅ぼすためである。

町の住民たちは、(若者のニュースを聞いて)喜びに駆りたてられてやって来た。かれ(ルート)は言った。「この方がたは、わたしの賓客です。わたしを恥さらしにしないでください。アッラーを畏れ、わたしに恥をかかせないでく

<sup>7</sup> 聖書ではロトの妻は後ろを振り向いたために塩の柱となったが、コーランでは妻は逃げずに残ったために、ほかの住民たちと同様に滅ぼされたことになっている。

ださい。」かれらは言った。「わたしたちは、外国の者(を泊めること)を、あなたに禁じなかったか。」かれは言った。「もしあなたがたが行おうとするなら、ここにわたしの娘たちがいます。」(預言者よ)あなたの生命にかけて(誓う)。本当にかれらは心を乱して、当てもなくさ迷う者である。それで一声(懲罰)が、日の出にかれらを襲った。われはその(町を)上を下にして転覆し、焼いた泥の石をかれらの上に降らせた(15章57-74節)。」

以下、さらにルートの民に関する章句を挙げていく。

「また(われは)ルートを(遣わした)、かれはその民に言った。「あなたがたは、あなたがた以前のどの世でも、誰も行わなかった淫らなことをするのか。あなたがたは、情欲のため女でなくて男に赴く。いやあなたがたは、途方もない人びとである。」かれの民は、只(互いに)こう言うだけであった。「かれらを、あなたがたの村から追い出せ。かれらは本当に清純ぶった人たちである。」こうしてわれは、かれ(ルート)の妻を除き、かれとその家族を救った。かの女は後の方になった遅れた者の仲間であった。われはかれらの上に、(瓦礫の)雨を降らせた。見なさい。罪に耽る者の最後がどんなものであったかを(7章80-84節)。」

「同胞ルートが、かれらに、「あなたがたは主を畏れないのですか。」と言った時を思い起しなさい。「本当にわたしは、あなたがたへの誠実な使徒です。だからアッラーを畏れ、わたしに従いなさい。わたしはあなたがたにこのことで報酬を求めません。わたしへの報酬は、唯々万有の主から(いただく)だけです。あなたがたは創造された者の中男だけに近付き、主があなたがたのために創られた配偶者を顧みないのですか。いや、あなたがたは罪を犯す者です。」

かれらは(答えて)言った。「いい加減止めないなら、ルートよ、あなたは必ず追放されるでしょう。」かれ(ルートは)言った。「わたしは、本当にあなたがたの行いを忌み嫌っています。主よ、わたしとわたしの家族を、かれらの所業から御救い下さい。」それでわれは、かれとかれの家族を凡て救った。後に残った、老女(ルートの妻)は別であったが。それから、われは外の者を滅ぼした。われは、(石の)雨をかれらの上に降らせた。警告されていた者たちには、災厄の雨であった(26章161-173節)。」

「またルート（を遣わし）、かれの民に、こう言った時を思え。「あなたがたは醜行をしている。あなたがた以前に、どんな世代でもしなかったことを。本当にあなたがたは、男性に近付き、また公道で強盗を働く。またあなたがたの集りで、忌まわしい事をしている。」だがかれの民は（答えて）、只「あなたが真実を言うのなら、わたしたちにアッラーの懲罰をもたらしてみなさい。」と言うだけである。かれは（祈って）言った。「主よ、不義を行う民からわたしを御助け下さい。」

「わが使徒（天使）たちが、吉報を持ってイブラーヒームの許に来た時、かれらは言った。「わたしたちは、この町の人びとを滅ぼそうとするところである。本当にここの住民は、悪を行う者たちばかりである。」かれ（イブラーヒーム）は言った。「だがルートがそこにいる。」かれらは言った。「わたしたちは、誰がそこにいるかを熟知している。落伍者であるかれ（ルート）の妻の外は、かれもその家族をも必ず救うであろう。」

わが使徒たち（天使）がルートのところに来た時、かれは自分の無力さを感じ、人びとのため悲しんだ。かれら（天使）は言った。「心配してはなりません。悲しんではなりません。本当にわたしたちは、あなたの妻の外は、あなたとあなたの家族をも救います。かの女は落伍者です。わたしたちは、この町の人びとが邪悪無法なため、かれらに天から懲罰を下そうとするところです。」本当にわれはそれによって、理解ある民への明白な印を残したのである（29章28-35節）。」

以上のように、コーランではルートの子の民の男性の同性愛者が非難されており<sup>8</sup>、神によって滅ぼされたとされている。女性の同性愛者については、コーランには述べられていない。

<sup>8</sup> マムルーク朝時代のジャラルッディーン・スユートイー（1505年没）とジャラルッディーン・マハッリー（1459年没）による『ジャラーラインのクルアーン注釈』の7章80節の解釈では「淫らなこと（中田訳では、不道徳）」を「男色」とし、「途方もない人びと（中田訳では、度を越した民）」とは「ハラール（許されたもの）を超えてハラーム（禁じられたもの）を犯す者」と解釈されている。26章166節の解釈でも「度を越した民」とは「許されたことを乗り越えて、禁じられたことを犯す者」とされており、男色はイスラーム法で許されない禁止行為とされている（ジャラルッディーン 2002, 2巻, 21; 3巻, 388）。

また同性愛に関しては、以下のようなハディース（預言者ムハンマドの言行を伝える伝承）がある。

ジャービルは以下のように伝えている。：神の使徒は言った。「私はルートの民の行為よりも、私のウンマ（イスラーム共同体）にとって恐れているものはない（ティルミズィー 1457, イブン・マージャ2563）<sup>9</sup>。」

イブン・アッバースは以下のように伝えている。：神の使徒は言った。「ルートの民の行為をする者を見たら、それをしている者と、されている者を殺しなさい（ティルミズィー 1456, アブー・ダーウード4462, イブン・マージャ2561）。」

これらのハディースでは、同性愛行為が非難されており、同性愛行為をした者は殺されるとされている。イスラーム法では婚姻外の性交渉に対して姦通罪の刑罰があり、男女間だけではなく同性間でも姦通に含まれる可能性があるが、同性愛行為を行った者への刑罰に関して、姦通罪と同じ仕方にするか否かについては議論がある<sup>10</sup>。

## 第二章 保守的ウラマーのファトワー

次にファトワー提供ウェブサイト Islam Question and Answer の中から、同性愛に関するファトワーをいくつか見てみたい。なお、このサイトの監修者はサウジアラビアのウラマーで、サラフィー主義者のシャイフ・ムハンマド・サーリフ・アル＝ムナッジド (Shaykh Muḥammad Ṣāliḥ al-Munajjid) である。

「イスラームが男女の同性愛を禁じているのはなぜですか？（Why does Islam forbid lesbianism and homosexuality?）」<sup>11</sup>

<sup>9</sup> スンナ派六大ハディース集については、sunnah.com を参照した。なお、本稿で引用したウェブサイトの最終閲覧日はすべて2020年9月13日。

<sup>10</sup> イスラーム法では、婚姻外の女奴隷との性交渉は許されている。また同性同士の結婚は想定されていない。同性愛行為を行った者への処罰に関するファトワーについては、「同性愛に対する処罰 (The punishment for homosexuality)」2006年3月13日付、回答者不明参照。https://islamqa.info/en/answers/38622/

<sup>11</sup> https://islamqa.info/en/10050

2009年4月5日付 回答者：ムハンマド・サーリフ・アル＝ムナッジド

質問：なぜ同性愛はイスラームでは罪なのか教えてください。私はそれが大きな罪であることを知っていますが、本当の理由を見つけることができません。もし可能であれば、コーラン、ハディースを引用して教えてください。

回答：イスラーム教徒は、たとえ一瞬であっても、神が規定したことが賢明であることを疑うべきではありません。彼は神が命じたものと禁じたものに大きな知恵があることを知っておくべきです。それはまっすぐな道であり、神が人間に創造した本性（フィトラ：fitrah）に従って、人間が安全、平和であり、名誉、心、健康を守ることができる唯一の方法です。……

同性愛者は、神が人間そして動物にも創造したフィトラに逆らい、それによって男性は女性に傾き、女性は男性に傾いています。それに反する者は誰でも、人類の本性、つまりフィトラに反しています。

同性愛の広がり、東洋も西洋も存在を否定できない病気を引き起こしました。この倒錯の結果が人間の免疫システムを攻撃するエイズだけだったとしても、それで十分でしょう。また彼らはこれらの倒錯に夢中になるがゆえに、家庭の崩壊を引き起こし、仕事と勉強をあきらめてしまいます。

同性愛の禁止は神に由来しているので、イスラーム教徒は、神が禁じたことを行う者に害が及ぶことを医学が証明するまで待つべきではありません。むしろ、信徒は神が人々によいことだけを規定していることをかたく信じなければならず、これらの現代の発見は神の知恵の偉大さに対する確信と自信を高めます。

続いてこのファトワーでは、議論の補強として、本稿第一章で列挙した、ルートの民に関するコーランの章句（7章80-81節、54章34節、29章28節、21章74節、27章54-58節）<sup>12</sup>や、同性愛者および同性愛行為を非難するハディースが挙げられている。

<sup>12</sup> 「あなたがたの中2人で罪を犯した者は（2人とも）処罰しなさい。だが、その罪を悔いて身を修めるならば、そのままに放って置け。本当にアッラーは、度々御赦しなされる方、慈悲深い方であられる（4章16節）」も挙げているが、2人という文言は男女を指すという解釈と同性を指すという解釈があるという。

さらに同性愛者に対する批判的なファトワーを紹介したい。

「同性愛者はそのように創造されたのであると言い訳する者たちに対する反論 (Refutation of those who excuse homosexuals on the grounds that this is the way they were created)」<sup>13</sup>

1999年11月28日付 回答者：シャイフ・ムハンマド・サーリフ・アル＝ムナッジド

質問：私はゲイではありませんが、同性愛はイスラームの下では禁じられているがゆえに、ゲイやレズビアンの人にはどのようなことが生じるのか、疑問に思っています。多くのゲイやレズビアンは、彼らの性的指向は自然であり、彼らは生まれながらに同性愛者であると言っています。彼らが正しいと仮定して、イスラームにおいて同性愛が非合法化されているのであれば、なぜ神は、彼らの存在が苦しめられ、性的に不満足な存在として彼らを創造されたのでしょうか。

回答：私たちは、彼らの性的指向が自然であるという彼らの主張に同意しません。むしろそれは本性の歪みです。神は彼らの行いを誤りで不道徳であるとし、神はどの民も経験したことのないような罰をルートの民に与えました。神はまた、この罰は間違った行為者たちからかけ離れたものではないとしています。

彼らの性的指向が自然であるという彼らの主張は、不道徳を広めるために役立つだけであり、それは彼らの単なる言い訳です。彼らの多くは奇妙に見えるほど外見を変えています。これが彼らが創造されたあり方であると、どうして私たちは言えるでしょう？

神は、ただ罰したり拷問したりするために誰かを創造してはいません。神は神を崇拜させるために人類を創造しましたが、彼らの信仰を試すために、苦難をもって彼の下僕を試そうとしたのです。彼らの罪を消滅させ、彼らの地位を高めるために。神は公正であり、人間に罪を犯すよう強制させてから彼を罰するようなことはしません。反対に、これらの倒錯した人々のように、人間は自

---

<sup>13</sup> <https://islamqa.info/en/6285>



分の自由な選択によって罪を犯します。それゆえ、彼らは罰せられるに値するのです。

「あなたの主は誰も不当に扱われない(コーラン18章49節)」「アッラーは決して淫らなことを命じられない。あなたがたはアッラーに就いて、知りもしないことを口にするのか(7章28節)。」

以上のファトワーでは、同性愛は、神の定めた人間のフィトラ(本性)に反しているという。同性愛や同性愛行為は病気や家庭の崩壊をもたらし、さらに神は同性愛を禁止しているのだから、イスラーム教徒は従わなければならないとしている。

次に、「彼は同性愛者であり、治療法を求めている(He is homosexual and wants a remedy)」を取り上げたい<sup>14</sup>。

2002年7月26日付 回答者不明

質問：私は同性愛行為には及んでいませんが、同性愛者であると自覚している16歳の少年です。どうすれば厄介な欲望を取り除くことができるでしょうか？

回答 1) あなたは心から悔い改め、神に頼り、あなたがしたことを後悔し、そして神に大いに祈り、神があなたを許し、あなたがこの問題を取り除くのを助けてくださるよう求めなければなりません。「自分の魂に背いて過ちを犯したわがしもべたちに言え、「それでもアッラーの慈悲に対して絶望してはならない。」アッラーは、本当に凡ての罪を赦される。かれは寛容にして慈悲深くあられる(コーラン33章53節)<sup>15</sup>。」

2) あなたの心に信仰の種を植えるよう努めてください。その種が成長するとき、それらが現世と来世において幸福の実を結ぶように。「本当に主を畏れる者は、悪魔がかれらを悩ますとき、(アッラーを)念ずればたちどころに(真理に)眼が開くだろう(7章201節)。」

3) 預言者ムハンマドが若者に与えたアドバイスに従うようにしてください。

<sup>14</sup> <https://islamqa.info/en/answers/20068>

<sup>15</sup> 以下、コーランの引用は章節番号のみ記す。

つまり、可能なら結婚することです。若いからといって躊躇せず、ご両親に結婚したいと伝えることは間違っていない。「あなたがたの中独身の者、またあなたがたの奴隷の男と女で廉正な者は、結婚させなさい。かれらがもし貧しければ、アッラーは恩恵により裕福にされよう。アッラーは寛恩深知であられる(24章32節)。」

4) 結婚することが容易ではない場合は、断食(齋戒)という別の解決策があります。月に三日、もしくは月曜と木曜に断食してはいかがでしょうか。断食の報酬は大きく、私たちを敬虔にします。「信仰する者よ、あなたがた以前の者に定められたようにあなたがたに齋戒が定められた。恐らくあなたがたは主を畏れるであろう(2章183節)。」

5) 人を地獄に運命づけ、心に深く悪い影響を与える不道德な行動を犯すことにつながる安い雑誌や裸の写真の中に、禁止されているものを見ようと考えないでください。「男の信者たちに言ってやるがいい。「(自分の係累以外の婦人に対しては)かれらの視線を低くし、貞潔を守れ。」それはかれらのために一段と清廉である。アッラーはかれらの行うことを熟知なされる(24章30節)。」

6) 罪の考えがあなたのもとにやって来るとき、または悪魔があなたに罪を犯すようにささやくとき、あなたの体の部分は、この罪のために、復活の日にあなたに対して証人となることを覚えておいてください。「かれらが(審判の席)に来ると、その耳や目や皮膚は、かれらの行ってきたことを、かれらの意に背いて証言する。するとかれらは、(自分の)皮膚に向かって言う。「あなたがたは何故わたしたちに背いて、証言をするのですか。」それらは(答えて)「凡てのものに語らせられるようにされたアッラーが、わたしたちに語らせられます。かれは最初にあなたがたを創り、そしてかれの御許に帰らせられます。」と言う(41章20-21節)。」

7) 一人でいるのは避けてください。これはあなたが自分の欲望について考えるようにするからです。正しい行い、コーランの読誦、神への思念と祈りのような、あなたに有益なものであなたの時間を満たすようにしてください。

8) これらの(同性愛の)主題について議論し、欲望を引き起こすものについて話し合い、罪の問題を軽く取り上げ、それに促すような邪悪で不道德な人々

との付き合いを避けてください。あなたに神を思い出させ、神に従うのを手伝ってくれる親友を探す必要があります。

9) もしあなたが罪に落ちそうになった場合、そのままにしないで、すぐに神に対して悔い改めてください。「また醜悪な行いをしたり、過失を犯した時、アッラーを念じてその罪過の御赦しを請い、「アッラーの外に、誰が罪を赦すことが出来ましょう。」(と祈る者)、またその犯したことを、故意に繰り返さない者(3章135節)。」

以上のように、同性愛に走りそうになった時には神を思念し、同性愛への考えを断ち切るとともに、可能であれば女性と結婚することが解決策であるとされている。

次に、ヨーロッパの人権団体や世界人権宣言を批判し、同性愛者の権利は認められないことが述べられているファトワーを見てみよう。

「西洋の人権団体とそれを判断のために引用することの規則について (Western human rights organizations and the ruling on referring to them for judgement)」<sup>16</sup>

2007年4月4日付 回答者不明

質問：世界の人権団体は、正義と平等を求め、ジェンダー、人種、肌の色を理由とした人々に対する抑圧と侵害に反対し、ほかにも高貴な原則を支持しています。私たちが彼らと協力してはいけない理由はありますか？これらの高貴な原則に反対する根拠は何ですか？

回答：ムスリムはいわゆる西洋およびヨーロッパの「人権」団体に惑わされるべきではありません。なぜなら、それらの団体は、表向きには抑圧された人々を支援し、刑務所や拘置所での拷問や人間の尊厳の毀損に反対する姿勢——一般的にはよい意味の概念です——をとっているにも関わらず、それらの団体はまたほかの役割を果たしており、家庭を破壊し、イスラームと預言者ムハンマド、ほかの預言者たちへの中傷への扉を開くことを目的とするほかの原則を支持しています。それらの団体は、シャリーア(イスラーム法)の規則に反

<sup>16</sup> <https://islamqa.info/en/97827>

対しています。……

これらの団体が推進していることをまとめましょう。どんなによこしまなことであっても、人間は自分のしたいことをすることができるべきだ、ということです。これらの団体はレズビアン、同性愛者、バイセクシュアル、そして宗教的逸脱を支持しています。これらの団体は、どのような宗教も信じないこと、そして預言者についてでさえ、恐れや恥もなく、自分の意見を表明することを人権だとみなしています。そしてこれらの団体は、女性の父、夫または宗教の支配からの女性の解放も支持しています<sup>17</sup>。……

彼らはまた夫と同じように妻にも離婚の同じ権利を与えます。これは、女性が夫に背き、家庭を破壊することにつながります。男性と女性の性質を知っている人はそのような不合理に同意することはできないでしょう。そもそも西洋の家庭は私たちに意見することができるほど無傷ではありません。彼らがいかに破壊されているかを見てください。同性愛の権利、女性が望む形で結婚・離婚することができる女性の権利への呼びかけ——このような不安定な基盤の上に、どのような家庭を築くことができるでしょうか。

---

<sup>17</sup> 続いてファトワーでは、以下の世界人権宣言の条項を引用し、批判している（外務省の「世界人権宣言（仮訳文）[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/udhr/1b\\_001.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/udhr/1b_001.html)」より）。

第二条1 すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、……いかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。第十八条 すべて人は、思想、良心及び宗教の自由に対する権利を有する。第十九条 すべて人は、意見及び表現の自由に対する権利を有する。

これらのいわゆる権利と自由は、宗教とは無関係にすべての人が享受することを呼びかけているものであり、一神教と多神教とを、これらの権利と自由を与えられている点で同等にします。……これらは腐敗した原則です。たとえそれらが彼らの生活、価値観、宗教に合ったとしても、それらは私たちには合わないし、私たちの純粋なシャリーアに反しています。……彼らは、個人は生命と自由の権利を有すると主張しています。たとえそれが獣のような生命であり、自由が家庭や社会の破滅、病、安全の喪失につながるとしても。

第十六条1 成年の男女は、人種、国籍又は宗教によるいかなる制限をも受けることなく、婚姻し、かつ家庭をつくる権利を有する。成年の男女は、婚姻中及びその解消に際し、婚姻に関し平等の権利を有する。

この条項は、……女性の後見人（ワリー）の役割を無効にします。神がこれ（後見人）を定めたのは、知恵によってです。もし後見人の同意なしに結婚が女性に委ねられた場合、ほとんどの女性が、彼女らを魅了し、貞操を奪った後は彼女らを捨ててしまう男と結婚するのを見るでしょう。

このファトワーでは、世界人権宣言に述べられている人間一人一人が平等に持つとされる権利は認められていない。一神教徒（イスラーム教徒）と多神教徒の扱いは別であるべきだとし、預言者ムハンマドを批判する言論の自由は認められず、窃盗者や姦通者には神の定めた身体刑（ハッド刑）<sup>18</sup>が必要だとし、また家庭を破壊するとして同性愛者の権利は認められておらず、女性についても後見人なしで結婚したり、女性の側から離婚することも家庭の崩壊につながるとして、男女同等の権利を認めていないことなどが述べられている<sup>19</sup>。このような主張は欧米の人権団体から批判されているが、イスラームから見れば、人権団体の主張は神の命令とは異なっており、ヨーロッパ人の生活は墮落したものだと考えられている。

以上のように、サウジアラビアのウラマーが発したファトワーでは、同性愛者および同性愛行為は非常に激しく非難されており、生まれつきの性的指向であるという主張も言い訳だとされている。同性愛行為は絶対に許されないものであり、同性愛者は神を畏れて同性愛を断ち切り、悔い改めるようにアドバイスされ、同性愛者がそのままの状態にいることは許されない<sup>20</sup>。また同性愛者の権利もほとんど認められておらず、同性愛者への迫害も懸念される<sup>21</sup>。しかし、同性愛を厳しく禁止しなければ家庭が崩壊してしまうというのである。

<sup>18</sup> コーラン、ハディースに述べられている、姦通罪、窃盗罪などに対する神によって量刑が定められた身体刑。人権団体からは批判されている。

<sup>19</sup> イスラームの規範では一般に、女性と男性はまったく別の扱いをされる。性による役割分担が社会の秩序の基盤となり、性別を問わずひとりの人間としてまったく同じように扱うという意味での男女の平等という発想はない。女性と男性は本来的に異なる性質、能力を持つという前提に立ち、それを踏まえて別々の権利と義務を与えるべきとされている（八木 2007, 66）。

<sup>20</sup> 「同性愛行為をした者は許され、結婚することはできるのか（Can those who have committed homosexual acts be forgiven, and is it permissible for such a person to get married?）2000年2月10日付回答者 シャイフ・ムハンマド・サーリフ・アル＝ムナッジド」における回答では、同性愛行為を行った者への刑罰は死刑であるとしながらも、同性愛者であることを告白する必要はないし、悔い改めれば異性と結婚することができるとされている。https://islamqa.info/en/answers/5177/

<sup>21</sup> もちろん、サウジアラビア人が皆保守的な見解を持っているわけではない。たとえば欧米の大学に留学経験があり、欧米の人権意識になじんでいる人などは、LGBTの人への対応が変わってくるはずである。

スンナ派だけではなく、シーア派のウラマーや政治家も、西洋とイスラームを対比させつつ同性愛に関して同様の見解を示しているので、紹介したい。

まずイランの最高指導者、ハーメネイー（‘Alī Ḥoseynī Khāmene’ī 在任1989年～）は、「同性愛よりも最悪の形態の道徳的腐敗はない」と述べている<sup>22</sup>。以下は、2016年5月27日のハーメネイーのスピーチである。

イラン革命の主な目的は、以下の通りです。イスラーム的な統治、自由、社会正義、公共福祉、貧困と無知の根絶、そして西洋から地球上のほかの地域へと広まってきた破壊的な道徳的腐敗の洪水への抵抗です。あなた方はみな、そのような道徳的腐敗の顕れを見ることができます。さまざまな国で、彼らはまず同性愛を合法化し、さらに一步進んで、それに反対する人々を悪質に妨害しています。同性愛よりも最悪の形態の道徳的腐敗はありません。

西洋では男女間の性的接触の自由が認められているため、それらの社会では欲望が少ないと考える人も過去にはいました。人々は通常、禁断の果実を欲しがっていると彼らは考えたからです。しかし、今ではその理論の反対が実情であることが証明されています。男性と女性の間に無制限の性的自由がある西洋では、彼らの間の性的欲望はますます顕著で攻撃的で暴力的な方法で現れるようになっていきます。しかし、ここで止まることはありません。将来、正確な時期は不明ですが、彼らは近親相姦、そしてさらに悪いことを合法化するでしょう。これこそが、道徳的な崩壊が私たちを導く場所です。

ハーメネイーは、同性愛は西洋からもたらされた性的な墮落であり、放置すればさらに近親相姦にもつながっていくとして警告している。

なお、イスラームでは性的適合手術（性転換手術）は認められている。性的適合手術に関するハーメネイーのファトワーは以下の通りである。

質問：一部の人々は男性の外見をしています。女性的な心理的および性的傾向があります。彼らが性的適合手術を受けていない場合、彼らの性的行動に関する限り、彼らは罪を犯すかもしれません。彼らがそのような手術を受ける

---

<sup>22</sup> <https://outrightinternational.org/content/irans-supreme-leader-says-there-no-worst-form-moral-degeneration-homosexuality>

ことは許されますか？

回答：最終的な結果がその人の本当の性別の決定である場合、それが禁忌行為またはひどい結果をもたらさない限り、上記の手術を受けることに害はありません<sup>23</sup>。

しかしこのファトワーが想定している、男性の外見を持っているが女性的な自己認識および性的志向を持つ人であれば、女性への性的適合手術は有効であろうが、性自認が男性の人には、外見を女性に変えたとしても解決にならないのではないだろうか。

次にイランの新聞記事、二本を紹介したい。

「アラヴィー＝ゴルガーニー「同性愛は西洋人の土産物」」2014年5月12日付 Mardomsalari 紙<sup>24</sup>

(法学者の)アーヤトッラー・アラヴィー＝ゴルガーニーは、「同性愛の蔓延こそ、世界の賢者を自称する西洋人がイランに持ち込んだ土産物にほかならない」と述べた。

同師は「女性の貞節とヘジャーブ(ヴェール)、そしてイランの独立はすべて殉教者たちの血の産物だ」とした上で、自由にしてくれと言う者がいる。もし自由であれば、ではヘジャーブと貞節はどうなるのか。同性愛の蔓延こそ、世界の賢者を自任する西洋人たちがイランに持ち込んだ土産物であるのに、である。と続けた。……

コーランは、下劣なる者たちが欲望にかられた眼差しを向けてこないかぎり、女性たちは声を大きくしてはならないと強調している。にもかかわらず、「人々はしたいことなら何でも自由にできるべきだ」などと言っている者たちがいる。神の意思を私たちよりも知っているのは、果たして預言者だろうか、それとも自由を声高に要求するあなた方なのだろうか？と述べた。

「ザリーフ外相「他国に干渉する権利は欧州議会にはない」(中)」2014年4月7

<sup>23</sup> <https://www.leader.ir/en/content/15853/Gender-change>

<sup>24</sup> [http://www.el.tufs.ac.jp/prmeis/html/pc/News20140515\\_152822.html](http://www.el.tufs.ac.jp/prmeis/html/pc/News20140515_152822.html) (東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」より)

<sup>25</sup> [http://el.tufs.ac.jp/prmeis/html/pc/News20140415\\_164754.html](http://el.tufs.ac.jp/prmeis/html/pc/News20140415_164754.html) (同上)

日付 Jam-e Jam 紙<sup>25</sup>

(国会議長の) ラーリージャーニー氏は(欧州議会が反イラン決議案を採択したことに対して)「このような民主主義と、その誤りに満ちたスタンダードを真似る理由など、私たちには微塵もない。むしろ私たちにとって、それは民主主義の資格を否定するものでしかない。このような民主主義は、自らの魅力を失っており、民主主義的な鬱状態に陥っているだけだ」と付け加え、欧州議会に向けて「同性愛者は自由に結婚できるべきだ、などといった声明を何百回採択したとしても、イラン国民は西洋文化に対して嫌悪感を抱くだけだ」と強調した。

同議長はさらに、「もしこうした元から誤った考えを、それがあなた方のスタンダードだからといった理由で受け入れるのなら、偶像崇拜との闘いをもって自らの運動を開始した預言者ムハンマドの運動に対して、私たちはどう言い訳できようか」と言明、「あなた方にはっきり言う。イラン国民はいかなる状況下であっても、イスラームとその光に満ちた法規定を、西洋の勧めと取り替えるようなことはしないということを、欧州議会は理解すべきだ」と付け加えた。

このようにシーア派においても、さきに述べたスンナ派のファトワーと同様、同性愛者や女性の人権という西洋の概念を批判している。西洋の人権意識がイランに持ち込まれ、押し付けられそうになっており、そのような西洋のスタンダードはイスラームとは相いれないというのである。もちろん、イランをはじめとするイスラーム世界には西洋の人権意識を支持する一般のイスラーム教徒も存在するのであるが、宗教指導者層の見解を見ると、同性愛者の権利が認められるのは前途多難に思われる。

## 結論

イスラームでは、同性愛はコーラン、ハディースで非難されており、とくに中東では同性愛者は迫害されている<sup>26</sup>。多くのイスラーム教徒の支持を得ている伝統的なコーラン解釈では、人間の性別は男と女の二つに分けられ<sup>27</sup>、神が定めた男女(夫婦)の役割分担を果たさなくてはならず<sup>28</sup>、男は男らしく、女



は女らしくあるべきだとされている。よって同性愛者といった男女の境界が曖昧な性的マイノリティーの権利はほとんど認められていない。このような長い間受け継がれてきた同性愛に関する伝統的な解釈を覆すのは容易ではないだろう。

しかし、欧米ではゲイのイマーム（モスクの説教師）たちを中心に、新しいコーラン解釈やゲイのイスラーム教徒のための活動が始まっている。たとえば、ダーイー・アブドゥッラー（Daayice Abdullah, 1954年～、アフリカ系アメリカ人、ワシントンD.C.のモスクのイマーム）、ムフシン・ヘンドリックス（Muhsin Hendricks, 1970年～、パキスタン出身、南アフリカのモスクのイマーム）、ルドヴィック＝モハメド・ザヘド（Ludovic-Mohamed Zahed, 1977年～、アルジェリア出身、パリのモスクのイマーム）たちによる活動である。ゲイのイマームたちと彼らの活動については稿を改めて論じたい。また、ユダヤ教、キリスト教における同性愛の問題との比較についても論じたい。

\* 本稿は科学研究費補助金基盤研究（C）課題番号19K00077による研究成果の一部である。

<sup>26</sup> 東南アジアについては、今後の課題としたい。「東南アジアのブルネイでは、2019年4月3日、同性愛行為や不倫に対し、鞭打ち、懲役、または石打ちによる死刑を科す厳格な刑法改正が施行された。こうした「反LGBT法」は国際的な非難の対象となり、ブルネイ国内でも人権団体の反発を招いた。ブルネイは極端な例であり、東南アジアの11カ国においては、LGBTの権利に関連する法律は国によって大きく異なる。LGBTの権利を拡大する国もある一方、総じて逆張りし、その権利を抑圧する国のほうが多いと言えよう。」「東南アジアのLGBTの今」<https://globalnewsview.org/archives/10818>

<sup>27</sup> 「かれは、人間を男と女の両性になされたのではなかったか（コーラン75章39節）」「本当にかれば、男と女の組み合わせ（夫婦）を創られた（53章45節）。」

<sup>28</sup> 男女の役割分担に関する根拠となっている代表的なコーランの章句は、「男は女の擁護者（家長）である。それはアッラーが、一方を他よりも強くなされ、かれらが自分の財産から、経費を出すためである。それで貞節な女は従順に、アッラーの守護の下に（夫の不在中を守る。……（4章34節）」である。エジプトのムスリム同胞団のイデオログ、サイイド・クトゥブ（Sayyid Qutb, 1906-66）はこの章句について、女性の務めは妊娠、出産、育児であり、男性の務めは、彼女を守り、必要なものを与えることであるとし、神は男女それぞれに役割と恩恵を与え、その一つとして男性を女性の保護者、扶養者としたとする（Qutb 2007, Vol. 2, 651）。21世紀初めの現在、世界のムスリム男女のあいだにもっとも流布し、共感を得ている読みかたは、おそらくサイイド・クトゥブの著述に連なる読みかたである（後藤 2007, 410）。青柳 2020も参照。

## 参考文献

- 青柳かおる 2019. 「イスラームにおける出生前診断——スンナ派を中心に」『人文科学研究』第145輯, 1-21.
- 青柳かおる 2020. 「「婚姻作法の書」にみられるガザリーの夫婦観——コーラン4章34節の解釈にみられる役割分担を中心に」『比較宗教思想研究』第20輯, 1-20.
- 大形里美 2019. 「インドネシアにおけるLGBT運動を取り巻く状況——LGBT運動の展開と近年の対立の構図」『九州国際大学国際・経済論集』第3号, 47-78.
- 後藤絵美 2017. 「クルアーンとジェンダー——男女のありかたと役割を中心に」松山洋平編『クルアーン入門』作品社, 389-413.
- ジャラルッディーン・スューティー, ジャラルッディーン・マハッリー (中田香織訳) 2002. 『ジャラーラインのクルアーン注釈』全3巻, 日本サウディアラビア協会.
- 新共同訳 2006. 『聖書 (旧約聖書続編つき)』日本聖書協会.
- 辻大地 2017. 「アッバース朝期のセクシュアリティと同性間性愛——ジャーヒズ著『ジャーリヤとグラームの美点の書』の分析を通じて」『東洋学報——東洋文庫和文紀要』第98巻4号, 1-25 (四五四-四三〇) .
- 三田了一 (訳) 『日亜対訳 聖クルアーン』日本ムスリム協会 (ウェブ版)
- ムスリム (磯崎定基・飯森嘉助・小笠原良治訳) 『サヒーフ・ムスリム』日本ムスリム協会 (ウェブ版)
- 八木久美子 2007. 「イスラーム」『ジェンダーで学ぶ宗教学』世界思想社, 58-73.
- Kugle, Scott Siraj al-Haqq 2010. *Homosexuality in Islam: Critical Reflection on Gay, Lesbian, and Transgender Muslims*, London: Oneworld Publications.
- Kugle, Scott Siraj al-Haqq 2014. *Living out Islam: Voices of Gay, Lesbian, and Transgender Muslim*, New York and London: New York University Press.
- Murray, Stephen O. and Will Roscoe eds. 2000. *Islamic Homosexualities: Culture, History, and Literature*, New York and London: New York University Press.
- Quṭb, Sayyid 2007. *Fī Zīlāl al-Qurʿān*, 6 vols., Cairo: Dār al-Shurūq.
- Rispler-Chaim, Vardit 2006. *Disability in Islamic Law*, Dordrecht: Springer.
- Zahed, Ludovic-Mohamed (edited and translated by Qiyaam Jantjies Zahed) 2013. *Queer Muslim Marriage: Struggle of a Gay Couple's True Life Story towards Inclusivity and Tawheed within Islam*, n.p.

Zahed, Ludovic-Mohamed (translated by Adi S. Bharat) 2019. *Homosexuality, Transidentity, and Islam: A Study of Scripture Confronting the Politics of Gender and Sexuality*, Amsterdam: Amsterdam University Press.